

会 議 録

会議の名称	第2回 行田市地域福祉推進計画策定委員会	
開催日時	令和6年10月21日(月) 開会：午後1時30分・閉会：午後3時00分	
開催場所	行田市産業文化会館2階第2会議室	
出席者(委員)氏名	清水 海隆委員長、山崎 孝子副委員長、関口 正彦委員、栗原 幸江委員、吉田 真人委員、田口 泰大委員、野口 智子委員、江原 史郎委員、田村 正美委員、富岡 誠委員	
欠席者(委員)氏名	堀内 規委員、新井 智明委員	
事務局	行田市：上村健康福祉部長、田島地域共生社会推進課長、増田主幹、代主査 行田市社会福祉協議会：鴨田常務理事兼事務局長、長谷川次長、松島主査	
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・議事 (1) ささえあいミーティングの報告 (2) 第4期行田市地域福祉推進計画の素案 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他 	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-1 (1) 令和6年度ささえあいミーティング報告書 ・資料 1-2 (1) 行田市の地域福祉をつくるささえあいミーティング ・資料 2-1 (2) 第4期行田市地域福祉計画・第4期行田市地域福祉活動計画骨子(案) ・資料 2-2 (2) 第4期行田市地域福祉推進計画 素案 ・資料 3 (3) 今後のスケジュール 	
その他必要事項	傍聴者なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者氏名
	令和6年10月21日	清水 海隆

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題
清水委員長	<p>ささえあいミーティングの報告に入る前に、1回目の意見概要をせっかくおまとめいただきましたから、ご発言になった委員の皆様、こういう話でしたということではよろしいかどうか該当するところは、資料2-2にあるということでお話を賜っております。対照表になっていますので、ご確認いただければと。また、後で資料2-2に順番に進んでいくと思いますので、その折にご発言になったところがどう反映しているかの確認は、もう一度していただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
清水委員長	<p><u>（1）ささえあいミーティングの報告</u> それでは、議題の1番に入りたいと思いますが、ささえあいミーティングにつきましては、資料1-1を基にしてご報告を事務局からお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>（資料1-1の説明）</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。何かご質問がございますか。</p>
関口委員	<p>乗り合いで買物に行くなどの助け合いを進めていくという欄がございます。4ページ、表の右下です。これは、今度、A I オンデマンド交通システムが、来年1月から始まるわけですが、この乗り合いは、それを意味しているわけではないのでしょうか。個々の乗用車で乗り合っていくとか、そういう意味でしょうか。</p>
事務局（社協）	<p>こちらはA I オンデマンドではなくて、15地区をそれぞれ回っていく中で、やはり足の問題はそれなりに出ていまして、意見として出た中では、地域の中で助け合いの中でできないだろうかという声やあるいは企業とかほかの事業者などに買物も協力してもらう方法があるのではないかとということで、地域とのつながりの中で、そういうことができるかというのではないかといい声がありましたので挙げたものです。</p>
関口委員	<p>ありがとうございます。この新しいシステムを活用することによって、かなり改善されると思われませんか。</p>
事務局（社協）	<p>これからなので正直何とも申し上げにくいところですが、た</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>だ、地域の方でそのような活動をされている方がいたりとか、そういうことをやろうとしていらっしゃる方がいるところもあるようなので、そういったところとうまく結びつけることができたりとか、あるいは、事業者とかそういったところとうまくつながることができるかと可能性はゼロではないのかなと、あくまでも地域の皆さんが主体となることができることで何かないかなという話ですので、ご理解いただければと思います。</p>
関口委員	<p>ありがとうございます。</p>
清水委員長	<p>よろしいでしょうか。どうぞ。</p>
野口委員	<p>こちらの雰囲気を見ると、高齢者を対象にしていると思うんですけども、平均年齢がどのくらいの方たちだったか、大体で。</p>
事務局（社協）	<p>60代から70代ぐらいではないかと思います。ただ、全く若い方が混ざっていないわけではないですが、確かに来られる方の中心は、年配の方が多かったと思います。</p>
野口委員	<p>それを解決する取組としては、若者、若い世代に訴えるために、行田市には大学も高校もあるので、そこに聞きに行くという取組は今現在あたりでしょうか。</p>
事務局（社協）	<p>現状ところはございません。</p>
野口委員	<p>そうしたらきっと若い者の意見が取り込まれない、イコール若い者がどういう考えをしているのか、実際こういうところに若者が入っていきたいのかもわからないと思うので、ぜひそういうところにも意見を聞いていただけると、もう少し広がるのではないかなと思います。よろしくお願いします。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございました。あとはいかがでしょうか。</p>
栗原委員	<p>包括支援センターという立場で7地区のささえあいミーティングに参加させていただきました。どこのご意見の中でもいただいた課題と取組の中で、やはり情報が行き届かない、行き届いていないのがどこの地区も出ていたかなと思います。</p> <p>この中で地域の情報が共有できずという主な課題が出てはいるんですが、もちろん支えあいマップの活用は必要だと思いますし、先ほども出ていました子どもやママたち、パパたちの参加ということで、また違った視点のご意見が当然出ると思うんで</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
清水委員長	<p>す。ある地区で子どもをお連れになった、子ども会のお母さんが参加されていたところは、やはり子ども向けのご意見が出ていたかなと感じました。</p> <p>情報の部分で、参加されている地域の代表の方でさえ、いろいろな社会資源や行っている事業のことをご存じない方が大変多かったと感じます。</p> <p>例えば先ほどの乗り合いであったり、デマンドであったり、あるいはウエルシアのうえたん号であったり、どういう流れで来ているのかとか、どこに来ているのか、場所ですね。そういうことをご存じない方が大変多かったと感じました。</p> <p>そういったところを課題の中で、地域の情報だけではなくて、もっと広げて、地域の方に情報提供できる取組を入れていただきたいと感じました。</p> <p>ありがとうございます。</p>
江原委員	<p>LINEを使って市の情報を流していると思うんですけども、だんだん見やすくなっているように感じています。ですから、この自治会ではどんなことをやっているとか、LINEで誰でも見られるような感じになっていくんでしょうけれども、来年1月に自治会連合会の研修がありますが、ほかの市ではやっているようなところがあるので、それをまねしながら、情報がどなたでも見られるようになると思います。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。どうぞ。</p>
田口委員	<p>各地区の課題とかを見させていただいたんですけども、実は私も昨年度まで自治会長を2年間やっております、その中で感じていることがあります。やはり近所とのつながりが大分薄くなっているなというところと、私自身も自治会に関わってなかったところがあったので、わからないこともたくさんあった中でやりました。それから若い世代の自治会への参加が少ないという意見の背景にはやはり働いているとその負担が大きいというところもあるのかなと思うんですけど、これから自治会を進めていく中で、私自身も感じたんですが、やはり若い人の力は必要になってくるんだろうなというところで、どうしても今は参加している方にスポットが当たっているんですけども、参加していない若い方にどうやって興味を持ってもらうかという取組が今後必要になってくるのかなと。感想になってしまいましたが、そんな感覚を持って自治会に参加させていただいたところですよ。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
清水委員長	<p>確認ですが、これは第5章に載るんですね。第5章の地区における取組の方向性というところにそっくり載せるというつもりで出てきているわけですよ。そこで私の要望的な話なのですが、この忍地区で行ったものですが、このパワーポイントの資料はよくできていて、3枚目の裏に赤い枠で囲って、お宅の地区は令和2年度からの地域福祉推進計画ではこういう課題があるよと。これが令和5年度の市民の意識調査だとこうなっているよと。せっかくここに出てきたんですから。</p> <p>それで、今年度になると整理して話合いをして、5ページに載っているこの課題になるわけですよ。例えばこれが前回の第3期のレイアウトと同じレイアウトを取れば、取組の方向性と矢印でくっついていくことになりますよ。紙面を取って申し訳ないですが、あらかじめホームページに載せる形でいしょうから、紙媒体はそんなに作らないでいしょうから、そうすると、できればこれも載せてほしいです。</p> <p>順番にこれの前に、要するに過去はこうだったよと。それで現在この課題が残っているとか、この課題が追加されているということで、今度はこういう意見になってきたよということがやっぱり大事なのだろうと。</p> <p>計画そのものが第3期から第4期になってくるわけですから、名前を継承して順番につながっていくという流れであれば、この前にあったものもやはり載せておかないとまずい。市民側の認識としては、こういうことを言ってきたと。今回はそれもネタにしてやったらこうなりましたというところで、ページ数が増えるかもしれませんが、図表を小さくしていただいて、できるように。</p> <p>もう1つ言うと、第3期もそうですが、こういう写真が載っているわけです。これって当日の話合いって何か付箋か何かを貼って模造紙か何かを作るんですか。どういうことをやっているのかよくわからない。</p> <p>例えば、それであればそういうものが載せられないかと。どういう形で皆さんが意見を出したのか、全部載せることはないですけども、どこか代表的な地域を載せると、市民が具体的に参加してこうやったというイメージが湧くと思うんです。15地区に分けて、これだけご苦労されておやりになっていると。</p> <p>それから、もう1つは、地域のいろいろな世代といいますか、層といいますか、そこからの意見は、もしかするといろいろなレベルでアンケートをおやりになっていると思いますので、例えばそういうものも。</p> <p>今から新しい層にアンケートを取って、3月末までに出すのは無理ではないですか、現実問題として。となれば、今あるそういう意見を有効活用できないのかと。それがあれば、ぜひとも</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>どこかから引っ張ってきたものを載せていただければ。例えば高齢者系であれば、包括支援もいろいろなことをおやりになっているでしょうから、そういうものも出せると思うんです。</p> <p>あとは、様々な民間の事業所ではない事業体みたいなものがありますよね。何とかセンターとか、何とか委員会で話題になっているものを載せる手もあるだろうと。</p> <p>前回、第1回をやったときに、地域福祉計画が核になって、いろいろな計画がぶら下がるんですよと。であれば、建前を現実化していくためには、いろいろぶら下がっているところに出てくる問題点を、例えばこの地区における取組の方向性の次に、関連する領域での課題とかで取り上げてくれると、今皆さんのおっしゃったような話題がある程度、その入り口だけは、つけられるだろうと思いますので、ぜひともご検討いただければと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。ささえあいミーティングは期待しているんです。これは、市民の皆さんの意見を吸い上げるという非常に現場に即した活動だと思っているので、これをもう少ししっかりと取り上げていくことはいいことだろうと思います。</p> <p>よろしいですか。ありがとうございました。</p>
清水委員長	<p><u>（2）第4期行田市地域福祉推進計画の素案</u></p> <p>2番目の第4期行田市地域福祉推進計画の素案について、事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>（資料2-1、2-2の説明）</p>
清水委員長	<p>ありがとうございました、特に資料2-2を中心にご説明いただきました。委員の皆様、ご質問があればと思いますが。どうぞ。</p>
田村委員	<p>資料2-2の26ページ、民生委員の活動についてということで、やりがいとか負担というところが出ていますが、私は暮らしのサポーター、それから困り事相談、障がいを持つ方の就職支援とか、その辺のことを10年ぐらいやってきたんですけども、その中で、民生委員の負担を少し感じるという方が63.7%になっていますが、民生委員は、聞くところによると区域や人が非常に多いので、とても対応しきれないという話を聞くんですけども、これを見るとそこまで強く表現されていないので、1つは大丈夫なのかなという感じですが。</p> <p>それから、私が困り事相談で個人宅へ伺ったときの話ですが、いろいろ困っているけれども、どこへ話を持っていくのかわからないとか、交通の便が悪くていけないとか、そういう話を結</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
山崎委員	<p>構聞くんですが、受け付ける部署までなかなか来ていただけないということが多いので、その辺の取組をお願いできればと思いますが。</p> <p>民生委員をやって今 20 年目となります。行田市で一番長くやっているのですが、民生委員は本当にボランティアなんです。今なられている方でも、1 期目の方は、やっぱり自分が思っていたのと違う。簡単だよという形で引き受けてしまった。定例会だけ出ればいいんだよというくらいで、やってみたらとんでもないと。市役所のいろいろな調べ事やら、ひとり暮らし高齢者、それから 2 人暮らしという感じのそんな形のことや、それからいろいろな形で度々訪問したりとか、あとは包括支援につないでほしいとか、相談事が度々来ます。ですから、やりがいも確かにあるんですけど、それ以上にやはり負担が大きいというのが現実です。</p> <p>ですから、成り手がいないというのは、そういう話を聞いてしまったとか、それから仕事をしている方は時間がないとか、それに割く時間がないと。あとは地域を回ったりするのもすごい負担だということで、欠員のところが幾つかあります。そこら辺がこれからの課題かなと思います。</p> <p>民生委員も、今までみたいにボランティアという形ではなくて、少し動きが出ているようですが、やはり少し改善していかないと、もうこれは 110 年過ぎているシステムですから、成り手確保が難しいのではないかとこのところに来ていると思います。</p>
田村委員	<p>ありがとうございます。26 ページの「負担」のところを見ると、私は、「強く感じる」と「少し感じる」が逆転しているのではないかと思うんです。</p> <p>それから、直接これに絡む話かどうかわかりませんが、今、ボランティアといっても、有償ボランティアというものがありまして、そういうものを取り入れて、もう少しカバーできる形ができればと常々思っているんですが、こちらの会議で発言する内容ではないかもしれませんが、よろしくお願いします。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございました。どの地域でも民生委員は不足しているというところで、私が住んでいるところも長らくやっていた方がお辞めになったら、後が決まらないという。新たな見通しはと言ったら、まだ決まっていませんと言われますから、そういうことで民生委員の成り手がいない。</p> <p>それから、今回この中でも再犯防止を取り扱っていますが、保護司も実は非常に数が少ない。この前保護司の事故があった</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
山崎委員	<p>りしましたから、またこれで余計減ってくるといったような状況もあって、なかなかそこら辺がうまく回っていかない。ただ、保護司に関しては、女性が出てきたり、年齢的に少し若い方がなったりという動きはあるみたいです。民生委員も、今おっしゃるように今は変わり目時だろうと思います。</p> <p>私ごとですが、夫も保護司をやっています、今2人の方を担当しており、面談に来るんです。やっぱりその面談の効果はすごくあるみたいですがけれども、事件がありまして、高価なものではないですがけれども、いろいろ置いておいたら、いないときに持っていかれたということがあって、それ以来、高価なものは違う部屋に置いてという感じで対処しました。</p> <p>ですから、犯罪をした方が全てそのときには更生しているかというのは難しいので、こちらが対処するという形で対応しているらしいです。やっぱり保護司も半端な気持ちでは受けられないという状況です。</p> <p>保護司も民生委員も本当にボランティアなので、その辺はすごく大変なことだと思いつつながら、やりがいはあると感じています。</p>
清水委員長	<p>あと何かご意見があればお出しただければ。どうぞ。</p>
野口委員	<p>骨子案で、基本目標の4番「地域のネットワークをいかしたまちづくり」が消えています、これはどのような感じで。誰もが生き生きと安心して暮らせるまちとは全く別のものかなと思うのですが、やはり時代に即して、ITとか情報とか、物流、交通、人脈など、その構成される仕組みをこれからはつくっていく必要があって、人やものをつないでいくネットワークは、やり方はいろいろあると思うんですが、一番上に来てもいいのではないかなと思うくらい必要だと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の計画の体系については、この目標に対してこの施策というように決めたものではなく、どの目標においても、どの施策も共通するようなことがあるという考えのもとで、この目標イコールこの施策という組立てにはしていません。</p> <p>「地域のネットワークをいかしたまちづくり」というのも、施策としては消えたのではなくて、ほかの目標にも入るようなことであるという認識のもとに、少し整理をしたような形にいたしました。</p> <p>情報に関しては、おっしゃるとおりですので、先ほども情報がなかなか届かないというご意見もありましたので、施策につ</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
野口委員	<p>いては取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。ネットワーク的な目標をもし削って3つにするのであれば、それを網羅した何かを1つ入れていただいたほうが、若者的にも、こういうことでつながっていくんだなというのがわかりやすいので、本当に時代に即したものをに入れていけたらいいのかなと。</p> <p>生きがいか、そういうものはあまり若者たちは望まなく、つながりを意外と大事にしている方たちが多いので、そういったところをもう少し入れていけたらいいかなと思います。</p>
事務局	<p>検討してまいります。</p>
清水委員長	<p>担当者の説明だと、第3期では基本目標が4つあったけれども、その分け方と施策の1番から15番までは、この目標を達成するために直接この施策があるのではないという。全体として全体をフォローしているという発想ですよ。それであれば、基本目標4を削る必要はなかったんですよ。例えば地域のネットワークをいかしたまちづくりという、ある特定の施策で「トータルサポート体制の充実」と「身近な地域における福祉活動の推進」がそれをフォローしている、それだけがフォローするのではなくて、全体として新しく1番から15番までがフォローしているんですよという言い方であれば、「地域のネットワークをいかしたまちづくり」を削除する必要はなかったと。</p> <p>構わないんだったら、これを残しておけばいいわけであって、ただそれがどの項目に当たるんですかといったら、全体で支えていますということで、それでお示しをいただければいいんだらうと思いますけれども、ご検討いただければと思います。</p> <p>関連で、資料2-1の骨子案の表。それから今回でいくと、横長のこの表、これは報告書の中のどこかに付きますか。つまり、第3期はこうだったんですよという、第3期と第4期をつなぐとこう流れていますよというのは、どこかでわかるんですか。</p> <p>つまり、第3期の報告書を持ってきて、第4期の報告書を持ってきて見合わせないと重なるところがわからないということになってしまうから、できればそういう第3期と第4期のつながり具合みたいなものをお示しいただいたほうがいいのではないかと。</p> <p>つまり、何を言っているのかということ、行田市の地域福祉推進計画の冊子は、誰用に示しているんですかと。市役所の中とか、市議会議員の方々にお示しになっていると言うんだらば、当然わかっているでしょうと。皆さんは、第3期計画はわかっていますよねと言えますけれども、市民目線でお示しになる</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>のであれば、今まではこうだったけど、次はこうやりますよというのは、必要ではないだろうかと思うんです。そこら辺もお考えになったほうがいいのかと思います。</p> <p>ついでにそれを考えると、その前の 22 ページ、23 ページの第 3 期の取組状況、これは評価委員会が評価しているわけですね。それに対して第 4 期はこうやりますと。国から例えば施策 9、10、11 は特に重点施策として位置付けると言われているから、そこについては、行田市においても確かにおっしゃるとおりだということで、再犯防止からいろいろなものを付け加えましたよということになっていくのではないですかね。</p> <p>そうすると、この取組状況って、まだ検討中だということですからあえて申し上げますと、これをもう少し細かくしたものがやっぱりここにあるって、だから第 4 期はこうですというふうにされると、市民の皆さんが非常に理解しやすいのではないかと思います。可能ならばご検討いただきたいと。</p>
清水委員長	<p>何かご意見があればお出しただければと思います。どうぞ、お願いいたします。</p>
田口委員	<p>2 点ほど質問をさせていただきます。</p> <p>1 点目は、先ほど清水委員長からありました、第 3 期の取組状況についてですが、この取組状況の中で令和 5 年度の状況が書かれているんですけども、例えば基本目標 2、「様々な福祉ニーズに対応できるまちづくり」というところで、市の取組で C の評価になっているものは、主な事業としてどんなものが挙げられるのか、社協では、主な事業として B を挙げられているんですけど、A の評価が何なのかとか、わかる範囲で教えてくださいたいと思います。</p> <p>もう 1 点は、第 4 章の 6 番の「福祉サービスの推進」というところで、市の取組としては高齢者福祉サービスとか、障がい者福祉サービスとか、子育て支援サービス、それから生活困窮者支援とかがありますが、これは国の制度で定められているものということで理解できる場所ではありますが、私などはひきこもりの方の支援をしまして、そういった方の支援は、こういう制度に乗ってこない方のサービスなので、そういったところも重点的にできるものをお考えであるのかどうかも、お聞きしたいと思って質問させていただきます。</p>
事務局	<p>まず、評価ですが、例えば C 評価のものが何点かございますが、具体的に申し上げますと、基本目標 2 ですと、障がい福祉サービスの充実として、「専門的な相談員の資格を持った職員の増員を図る」という項目がありまして、社会福祉士の資格を持つ</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局（社協）	<p>た職員は1名いるんですが、それ以上の配置ができなくて、増員を図ることができなかったところがC評価です。</p> <p>基本目標3のところでは、「成年後見センターの設置」という施策がありまして、そちらがまだ設置できていないということでC評価ですとか、「個別避難計画の策定」という施策がまだ十分にできていないということで、こちらはC評価となっております。</p> <p>社会福祉協議会のほうですが、確認をさせていただいて、また後で報告をさせていただきます。</p>
事務局	<p>2点目のひきこもりの方等の支援について、53ページの福祉サービスの中には記載していませんが、65ページ以降に「重層的支援体制整備事業実施計画」を示させていただいております。</p> <p>この事業については、制度の狭間になってしまうような方の支援等について、漏れのない支援体制を構築していくことを目標として掲げておりまして、例えば66ページの「1相談支援」、（3）アウトリーチ等を通じた継続的支援ですとか、「2参加支援」という部分の具体化した内容について、67ページに載せさせていただいておりますが、「1－（3）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」の中に、支援が届いていない方に支援を届ける、ですとか、「参加支援事業」としては、社会とのつながりをつくるための支援を行っていくという中に、こうしたひきこもってしまった方の具体的な支援を示させていただいております。</p> <p>具体的な対応の内容については、69ページに載せております。69ページの1－（3）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の3段目になりますが、「地域社会からの孤立が長期にわたる、ひきこもり状態の方や必要な支援が届いていない方に対して継続的な訪問を行い、信頼関係の構築や世帯の状況を把握し、必要な福祉サービスに関する情報提供等を行っていく」という形で記載しておりまして、具体的には社会福祉協議会にアウトリーチ支援員、訪問支援員を配置しまして、継続的な信頼関係の構築に向けた支援を行い、その方の支援のニーズや状態に合わせ、その下の「参加支援事業」につないでいくような形で、ひきこもりの方等の支援について対応できればということで、重層の計画の中に位置づけていることから、福祉サービスの部分については載せていないということでご理解いただければと思います。</p>
田口委員	<p>ありがとうございます。例えば、今私たちは居場所活動をやっているんですけども、そういった居場所の充実とか、そう</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>いったところのお考えはないでしょうか。</p> <p>そちらについては、67ページの「3 地域づくり事業」に位置づけておりました、人と人がつながる機会を創出するのがすごく大事なものだと思っております。ひきこもりの方の居場所という部分もすごく大切な取組だと考えておりました、一番上にあるとおり、世代や属性を超えた交流ができる場や居場所を整備するという部分を、地域づくりの第1課題として挙げさせていただいております。</p> <p>この中には、様々な世代間交流をするという部分の居場所だけではなくて、ひきこもりの方ですとか、様々な方々に応じた居場所づくりが整備できればと位置づけておりました、そのような居場所づくりを推進していきたいと考えております。</p>
野口委員	<p>これは子どもも入っていますか。</p>
事務局	<p>入っています。子ども、高齢者、障がいの方、ひきこもりの方、様々な方が属性、世代を問わず交流できるという部分を考えていければと思っております。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。どうぞ。</p>
事務局（社協）	<p>社会福祉協議会の部分ですが、権利擁護のところやはり市でも挙がっていますが、成年後見センターの設置検討で、こちらの部分がまだ未達成というところでもあります。</p> <p>また、親族に頼れない等の理由で将来的に不安を抱えるひとり暮らしの高齢者とか、高齢者世帯等を対象に新しいサービスを検討していくというところが未達成ということでC評価になっております。</p>
清水委員長	<p>よろしいでしょうか。ここでもこれだけ出るんですね。まだ検討中だということですからいいですが、22、23ページの示し方にもう一工夫必要ではないでしょうか。特に例えばC評価があるところの基本目標2、3、4、そのところの少なくともC評価の報告だけでもいいから、C評価の項目を載せたくない気持ちはわからないわけではないけれども、そこはやっぱり載せて、ここが足りないから次の地域福祉計画では補いますよということにしないと、多分ご理解がいただきにくいのではないのでしょうか。ですから、C評価項目を載せていただくと。</p> <p>主な事業として、こうでしたというのはいいですけれども、それと同時に、評価いただけなかったものは何なのかということをお載せになったほうが、計画の前の段階としてはいいと思</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>います。</p> <p>もう1つは、65ページからの「重層的支援体制整備事業の推進」、ここの書き方はひな形だと思っているんです。つまり、最初に8050から始まる状況説明があって、本市における現状と課題があって、施策の方向性があると。先ほどこれを説明根拠にしておっしゃっていましたが、これって国ですよ。これを行田市に落としたものは68、69ページにあるんですから、66、67ページを載せる必要性がよくわからない。</p> <p>66、67ページを何かの参考にしろというんだったら、国の厚労省のホームページアドレスを載せておけば、それでいいのかな。むしろ行田市はこれですよ。68から71ページは計画の中でやるんですよ。これをもっと売ったほうがいいと思います。まさにここが大事だろうと。</p> <p>今申し上げたように、頭の全体構造みたいなものをほかでもお書きになったらいいのではないかと。例えばその1個前の「再犯防止」のところは、頭がないです。頭がなくて、いきなり現状と課題です。この現状と課題も、白丸の1個目は、そこではなくてもう1個上に上げて、頭書きでもいいのかなと思いますけれども、それがあって現状と課題があって、施策の方向性あって、市の施策と取組があってというふうにされたほうが何となくわかりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>もう1ついいですか。9番目の「成年後見」のところですが、成年後見の話があって、62ページには社協の法人後見事業が出てきて、61ページは市の中で成年後見と任意後見制度が出てくるわけですね。ここまで出てきて、法定後見は何も触れていない。これは法定後見だから触れないでしょうけれども、何とか後見っていっぱいあるんです。となると、市民の方たちって結構混乱しますよね。それならば後見人制度の分かれ図みたいなものを1個置いて、その中で市としてこの計画ではここをやるんですというふうにしないと、何とか後見、何とか後見というのがいっぱい出てくると、読む方はわからない。</p> <p>なおかつ、市民後見人という言葉が出てきますから、市民の中で後見人制度を理解して、後見人となる方を養成する講座をやりたいというのはわかります。それを横にしているから、市民後見人って何ですかみたいな話が多分出てくるのではないかと。言葉の使い方とか構造の示し方を、前提としていろいろなことをご理解されている方が見れば、何も問題なく見れますけれども、誤解を与えてはもったいないということで、さっき申し上げたように、これは誰用につくるんですかということが出てくるわけですね。だから、そこはやっぱりお示しの仕方をお考えになったほうがいいと思います。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>委員長にご指摘いただきました 22 ページ、23 ページの第 3 期計画の取組につきましては、これだけだとやはり説明が足りていない部分が当然あるかと思えます。この辺については、もう少し見せ方を詳細にといいますか、もう少しわかりやすいような表現の仕方に改めさせていただきたいと考えております。</p> <p>それと 61 ページの成年後見制度、63 ページの再犯防止推進計画につきましては、計画という位置づけでこの福祉計画の中に入れさせていただくものでありますので、先ほど委員長がおっしゃられましたとおり、まずは国の説明から入って、ここのページで基本計画を構成するよう、計画としての体裁を整えて、成年後見、再犯防止、重層的支援体制整備事業の 3 つは、あくまでも計画を包含するというもので位置づけておりますので、こちらは少しほかの項目とは変えて、違った見せ方でまたお示しさせていただきたいと考えております。</p>
清水委員長	<p>ぜひこれらについては新しく地域福祉計画の中に入ったということをやっぱりちゃんと言っておかないといけませんね。ですから、さっき言ったように、第 3 期と第 4 期の流れの対照表はないのかというお話になるわけです。そこら辺の見せ方を考えていただけるといいと思います。</p>
事務局	<p>委員長のご指摘のとおり、内容については再度検討させていただきまして、次回お示しできるようにさせていただきたいと思えます。</p>
富岡委員	<p>私は、普段の仕事は社会福祉士という仕事、資格を持って成年後見人の仕事をしていますので、成年後見を専門でやっております、委員長のおっしゃるとおりかと思えます。</p> <p>ただ、私が気になっていることは、やはり国のほうで計画を示しなさいと言っていますし、61 ページは市の施策、62 ページは社協の施策ということですが、成年後見センターと一概に言っていますけれども、社協では法人後見を運営していると。市は、性質としては中核機関を設置すると。そこの違いは、やはり詳しく注意書きとかは必要かと思えますけれども、その辺の違いは市民の方にもご理解いただいて、市の役割と社協の役割というふうに分けていくか、直営でやっているのか、委託でやっているのか。重層のほうで直営、委託とかわかりやすく、具体的な担当課も書いてありますけれども、やはり中核機関に関しても、どこが主体なのか、直営なのか、委託なのかというところの違いとかは示せばいいと思っております。</p> <p>ほかの市町村の地域福祉計画には成年後見利用促進計画と</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
清水委員長	<p>か、重層とかが計画に載っていますけれども、やはりある程度ボリュームを設けてやっています。</p> <p>あと進捗状況としても、やはりC評価ということで、かなり遅れている状況かと思えます。そこは62ページに成年後見センターの設置の検討、運営とありますし、61ページには成年後見センターの早期設置とありますけれども、もう待ったなしの状況。もう来年、これは計画なので予算とかもあると思えますけれども、これはちゃんと計画に載せていただいて、もう設置時期もお示しいただくような段階に来ているかと思えます。その辺を示していただくと大変ありがたいと思えます。</p> <p>ありがとうございます。全ての事業の実施時期を設定しろというのは、そこまではもちろん言いませんけれども、やはり絵に描いた餅にしないために、少しそういうスケジュール的な配慮も必要だろうとは思っています。</p>
清水委員長	<p>さて、いかがでしょうか。皆さんがよろしければ、ここで止めさせていただいて、今日出たようなご意見について事務局には少しお考えいただいて、改善型をお願いしたいと思えます。</p> <p>委員の皆様におきましては、今日ここでの議論をお聞きになってお気づきになったということがあれば、次は12月でしょうから、暮れ前までに事務方へメールか何かで言っていて、ご質問なり、またはご意見なりをお寄せいただければと思います。</p>
清水委員長	<p><u>（3）今後のスケジュールについて</u></p> <p>次に3番のスケジュール、資料3につきまして、以降のスケジュールについてお願いいたします。</p>
事務局	<p>（資料3 今後のスケジュールについての説明）</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。12月中旬の第3回であらかた冊子の文言は固まってしまうと思えますので、お気づきの点はぜひとも申し添えいただきたいと思っております。</p>
清水委員長	<p><u>（4）その他</u></p> <p>それでは、その他は何かおありですか。</p>
野口委員	<p>全体を通してなんですけれども、福祉という言葉は、幸せを意味するとご存じの方は多いと思うんですけれども、やはり障がいがある人とか高齢者とか、何か助けが欲しい人だけではなくて、みんなが福祉に関われるような内容を盛り込んでいただ</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>けると、いろいろな年代の人たち、例えば市民一人一人ができること。これを読んでも、どこに参加できるかがなかなかピンとこないところが多くあるので、行田市ならではというところを落とし込んでつくっていただけると、みんなにも伝えやすい。行田市はこういうふうにしているよとか、こういうところを使えるよと伝えやすいですし、そもそも皆さんがこれを読まないと思うので、読んだ人たちがまわりに伝えやすいような具体的な内容をつくっていただけたらいいかなと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>いろいろとご意見をいただきまして、ありがとうございます。やはり、委員長からこの計画は誰のものなのかと、今日ご指摘いただいたように、市民が読んでわかるものでなければいけないと。市民の皆さんに読んでいただくことが大前提の計画となっていますので、この計画はとても長いので、これをそのままお示ししても、なかなか皆さんに手に取って読んでいただくことは難しいだろうと思っています。野口委員からご意見があったように、どうやったらこれが障がい者や高齢者、当事者だけではなくて、それを支える方とか、それ以外の方々、子育てをしている方も、子どももみんな、実は福祉はみんなで作るものなんだということがわかってもらえるようにというのは、宿題として検討していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。計画をつくりますと、行政的には毎年進行管理しなければいけない流れになるんでしょうけれども、例えば、これをネタにささえあいミーティングなのか、高校への出前なのかわかりませんが、そういうようなことをおやりいただくと、行田の市民の方々の中にも広まっていくだろうと。</p> <p>そのときに中学生が見るかどうかわからないけれども、中学生や高校生、一般の方が見ることを考えると、ホームページでアップして、すぐに見れるようにアクセスしやすい状況をつくっていったら、そこで見れるという状況を意図的につくっていく。さらに、毎年の進捗状況も例えばホームページで何がどこまでできているみたいな話ができるといいのかなと。</p> <p>だから、この計画をつくって、計画の後の進行管理とそれをどう広げるかということが一番大事なんだろうと思っていますので、これはきっと本来は第4回で言うはずの話だったんですけども、よろしく願いいたします。</p>
清水委員長	<p>それでは、ほかに。何かご意見があれば。大丈夫ですか。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	<p>それでは、お預かりしていたのは以上でおしまいにしたいと思います。どうもご苦労さまでございました。では、事務局にお返しいたします。</p> <p>6 閉 会</p>